

◆ 2022 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 草加市カヌー協会「草加パドラーズ」

25A-04

代表者：代表理事 中島 清治

URL :

1. 活動が必要とされた状況

平成 26 年、草加松原が文化庁から名勝「おくのほそ道の風景地」に指定されたが、そばを流れる綾瀬川が、悪臭、不法投棄ゴミで汚れていたため、カヌーで浮遊ゴミの回収活動を始めた。名勝草加松原を流れる綾瀬川が、不法投棄ゴミであふれて、大変不名誉であった。市民と行政が連携して、川の再生を図ることが重要な課題であった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

平成 26 年 12 月にカヌーで浮遊ゴミの回収活動を開始した。毎週水、土、日、祝日の午前 8 時 30 分から 2 時間程の活動である。令和 4 年で河川美化活動は 8 年目である。令和 4 年は、活動回数 154 回、参加人数の合計は 1,935 名、ゴミの回収量は 1,132 袋（45ℓビニール袋）であった。ペットボトル、空き缶、空き瓶、発泡スチロール、コンビニ弁当殻、ビニール袋、家庭ごみなどである。環境省の春と秋の「海ゴミゼロウイーク」にも協力した。



3. 活動の成果

平成 26 年当初は会員 2 名で始めたが、令和 4 年 12 月現在の会員数は 148 名となった。8 年間で、活動回数は 1,129 回、参加総人数は 10,517 名、ゴミの回収総量は 6,045 袋である。ゴミ袋を積み上げると北アルプス穂高岳（3,190m）に迫る量である。（※45ℓビニール袋 1 袋分＝50cm に換算） また、草加市内だけでなく、足立区、越谷市、春日部市などと広域連携活動ができた。コロナ禍の中、予防措置を講じながら、夏休みカヌー教室（20 名）、カヌー体験会（630 名）、第 3 回松尾芭蕉杯カヌー大会（130 名）を開催することができた。

4. 今後に残された課題

2 年前に、春日部市カヌー協会と足立パドラーズを、昨年、越谷市カヌー協会を発足させた。草加市だけではなく、春日部、川口、越谷、足立区等の広範囲な流域で取り組む必要性を強く感じている。そのためには、カヌーや救命ボートの陸路運搬費、母船の航続距離が長い船外機の購入が必要である。綾瀬川、綾瀬川放水路、中川、花畑川でのゴミ回収母船、非常時の物資運搬、人命救助など危機管理の充実をさらに図っていききたいと思う。河川美化活動、水辺を活かした安全で潤いのある街づくりを、行政と連携し積極的に取り組んでいきたいと考えている。